本文中の空欄に語群から選んで適切な言葉を埋めなさい

①一念と三千

自身の一念が変われば自分を取り巻く(環境 を言います。この一念に三千の諸法があまねく広がることを説いたのが(私たちの瞬間瞬間の生命を、(転換をも成し遂げ、 池田先生はこの哲学を「一人の人間における偉大な()は、(南無妙法蓮華経)の御本尊を図顕された理論的支柱の一つです。 さらに全人類の宿命をも可能にする」と表現しました。 一念)と呼び、三千とは諸法のことであり、すべてのものごとや働き)も変わり、世界をも変えていけるという希望の哲学で 人間革命)は、やがて一国の(一念三千)の法理です。

②一念三千の構成

三千とは(十界互具) × (十如是)×(三世間)で構成されています。

(1)十界互具

生も(十界互具とは、 仏界)を顕し成仏できることをあらわしています。(十界)のおのおのの生命に(十界)が具していることであり、十界のいかなる衆

(2)十如是

則を示したものである。 十界のどのような衆生・環境も等しく(十如是)を備えてい え。 十如是は生命境涯の $\overline{}$ 因果 $\overline{}$ σ 法

(3)三世間

間をい 世間とは、差異・ ゙゙゚゚ます。 違し という意味であり、 三世間とは、 $\overline{}$ 五陰)世間、 $\overline{}$ 衆生)世間($\overline{}$ 国土 世

三世間の法理から、(五陰)が変われば衆生も国土も変わります。

③凡夫成仏・即身成仏

を(即身成仏)または(凡夫成仏)といいます。凡夫の身に、仏という最高の人間性を開き現すことができるのが大聖人の成仏観であり、こうした成仏

御書に「成とは(開く 仏の生命を(開く)ことです。)義なり」とあるように、成仏とは仏に「なる」のではなく、 凡夫の 身の ままに

聖人なり』とあるとおり、御本尊を信受し広宣流布を貫けば胸中に(日蓮大聖人『我等この(本尊)を信受し、(南無妙法蓮華経)と唱え奉れば、我が身即ち 涌現できるのです。 一念三千の本尊、連祖)と同じ仏の生命が

④煩悩即菩提・生死即涅槃

心身を悩ます心の働きを(煩悩)といいます。

煩悩に覆われた苦悩の身が、そのまま菩提の智慧に輝く自在の身となるとの法理を(います。 煩悩即菩提 ک

仏の悟りによって得られる涅槃を開き顕していけることを(生死即涅槃)といいます。御本尊を信じて南無妙法蓮華経と唱えていけば、生死によってもたらされる苦しみの境涯にある生命に、

三世間 煩悩即菩提 凡夫成仏 本尊 成る 南無妙法蓮華経 衆生 十如是 五陰 日蓮大聖人 国土 即身成 14 環境 人間革命 生成 念 14 宿命 Ξ 1 十界互具 因果 念三千 生死即涅槃

※次の文章は十如是のどれを説明していますか?ふさわしい言葉を埋めなさい

相から報までの九如是が一貫性を保っている様	果が外に現れ出た報い	因に縁が和合して内面に生じる結果	外から「因」に働きかけて結果へと導く補助的要因	内在していて結果を生み出す直接的な原因	内在している力が外界に現れて他にも働きかける作用	内在している力、潜在的能力	相や性を備えた主体	内にあって一貫している性質や性分	表面に現れて絶え間なく移り変わる形や様相
如是(如是(如是(如是(如是(如是(如是(如是(如是(如是(
本末究竟等	報	果	縁	因	作	\nearrow	体	性	相
	\smile	\smile	\smile	\smile	\smile	\smile	\smile	\smile	\smile

※次の成仏につい ての説明につい ,て相応しい言葉を空欄に埋めなさい

誰もが一生のうちに成仏できる凡夫の身に、仏という最高の人間 (という最高の人間性を開き現すことができる(一 即 生 身) 成 成 仏 仏 または 凡 ŧ

※一念三千に関する次の文章について、正しいものに〇、間違っているものに×をつけ

- × O
-)十界のどの衆生であっても正しい縁に触れることができれば仏界をあらわして成仏できる。生死を何度も繰り返しながら歴劫修行を積む必要がある。)人間の生命はそれぞれの生命状態は厳格で峻別されているため、生命境涯を変革するためには)どのような人間であれ最高の生命である仏界を具えている。
- 00 の衆生であっても仏界の縁に触れれば仏界を涌現できる。)十如是で説明している生命境涯の因果の法則は十界いずれでも共通であるので十界のいずれ

※幸福境涯の確立に関する次の文章について、正しいものに○、間違っているものに×をつけ

-)極悪人の成仏には善人に、女人成仏には男性に生まれ変わることが必要である。)即身成仏とは、衆生が九界の凡夫の身を改めることなく、仏の境涯を得ることである。)成仏とは日常に苦悩する凡夫には具わっていない、卓越した仏の境地を得ることである。
-)過去世の罪業の軽重によっては来世まで修行しなければ成仏できない場合もある。
-)成仏するためには苦悩の原因である煩悩を消滅させることが必要である。)大聖人が顕された南無妙法蓮華経の御本尊を信受することによって誰もが仏界を涌現できる。
- _____ $\times \bigcirc \bigcirc \times \bigcirc \times \times \bigcirc \times$)自身の内なる仏界とは、南無妙法蓮華経そのものである。)本来誰もが持って いる仏の生命を涌現することによって 一人ももれなく幸福境涯を確立できる。
-)涅槃とは修行を積んだ凡夫が死後に得られる境涯のことである。